

記念撮影で母校の児童生徒と交流する桜庭選手



デフリンピック ボウリング日本代表

## 桜庭選手 後輩へエール

### 函館聾学校訪問

### 「次は金メダル」

昨年11月に東京などで行われた聴覚障害者の国際大会「東京デフリンピック」にボウリング競技の日本代表として出場した函館市の会社員桜庭まどかさん(37)が19日、母校の函館聾学校を訪れ、在校生に結果を報告した。

桜庭さんは女子シングルスで日本人最高の5位、女子団体8位に入賞した。後輩たちに向けて「デフリンピックに出場したことは一生の宝物。皆さんも夢に向かって進んで行けば、きっと宝物が見つかる」と語った。

生徒会長の福井稜馬りょうまさん(13)「中学部2年」は「プレッシャーに押しつぶされず世界で活躍した先輩を見て、後輩として誇らしい」と話していた。桜庭さんは報告後の取材に対し、「あと一歩の所でメダルを持ち帰れず

悔しい。次のデフリンピックでは金メダルを取りたい」と抱負を語った。

(白石翠)